

20年度 市川市 PTA 連絡協議会

会議名

第7回三役会議事録

作成者

(事務局員)

開催場所

市川市役所 第1-1委員会室

開催日

2008年12月6日(土)

開催時間

16:40~18:20

出席者

会長(平田小)・副会長(富貴島小)・副会長(国分小)・副会長(新浜小)・副会長(稲荷木小)・副会長(大野小)・事務局長(南行徳小)・事務局次長(大野小)・【事務局員:1名】・【市:主査】

1. 会長挨拶

県P理事会では日Pちば大会のことが話し合われていますので、後ほど報告したいと思います。いろいろとお願いしなくてはならないことも出てくるので、みなさんで協議をお願いいたします。鶴指小でインフルエンザによる学級閉鎖ができました。今までにないタイプの新しいインフルエンザが流行する兆しがあるようですので、家庭でも十分に注意するようにしましょう。

2. 保健体育課より

(1) 給食費の改定について

食材について次年度より値上げをしたいと考えている。これまで市川市では11年間据え置いてきたこともあり、物価の上昇に対応するため仕方がないと考えている。ただし、食材価格を算定することは変動が激しく難しいところも出てきており、これまでの一年に1回の算定から半年ごとの算定に変更することも検討している。

今後、検討結果を教育長に報告し、定例教育委員会で値上げ額が決定する予定。

保護者が払う「給食費」は食材費のことであり、他に人件費、光熱費などは市川市が負担しているということを知っている保護者は少ないと思われる。分からないから文句を言う人も増えるのだから、きちんと説明して理解してもらう努力が必要だろう。

(2) 学校給食の申込書

今年度実施した学校給食の申し込みについては、次年度以降も毎年行う予定。来年度は「契約」という言葉は使わないという点と、弁当でもいいと誤解されるような文章は避ける。

2月に保護者向けの手紙を発信する予定。

(3) 事故米について

前回の報告に対する質問の中で、本件に関する賠償問題の質問があったが、現状では被害があったか否かが想像の範囲を超えず、ただ可能性が高いというだけで賠償請求をすることは無いという結論になった。前回では被害想定があったが、その後の調査で99%以上被害はなかったと判断している。

ここまでの問合せは、保護者から2件、学校へ直接言ってきた方が1件、市民団体から1件あったが、いずれも説明をして理解していただいたと思っている。

3. 各部会からの報告

(1) 総務部会

1月に総会・懇親会について部会を開催する予定。

研究大会の報告書がまだ集まっていないので早急にまとめをしたい。

(2) 広報部会

この三役会の直前にP連だより第2号の最終校正を実施した。12月17日発行予定。

P連だよりの発行部数について、児童数だったり家庭数だったり統一がとれていないように見えるため見直しを行なう。

(3) スポーツ部会

11月9日に秋季野球大会の決勝戦を開催した。

12月2日に市川市PTA野球連合の会長が急逝された。今後の野球大会のありかたについて早急に確認する必要がある。12月中にも各野球チームの代表者を集めて相談する予定。

(4) 研修部会

11月7日に第2回オリエンテーションが無事に終了しました。出席者のアンケートを取ればよかったと思いました。今後、新しい試みをする時は必ずアンケートを実施した方がよいと思います。

(5) 県P安房大会

分科会に出席して思ったことに、市川市のレベルは県内でも高いと感じた。第2分科会では質疑応答で質問にたったのは市川市が多かった。第4分科会では実践報告の内容がP連副会長（新浜小）は群を抜いてよかった。

今回のように1泊形式で研究大会に出席できたのは、役員の懇親を深める意味でもとてもよかったと思う。

4. 議題

(1) P連だより第2号について

- ・ 最終校正は本日完了。8日に入稿。16日に納品。17日に各校に配送の予定。

(2) 第3回オリエンテーションについて

- ・ 2月13日（金）グリーンスタジオを会場にして、講演会形式で開催を考えている。
- ・ 講師にいちかわ市民ミュージカルで脚本・演出をされた吉原廣氏で進めることで承認。

(3) 来年度事業計画について

- ・ 昨年の総会・懇親会で県の小学校長会の総会と日程が重なったことを考えて木曜日を提案する。グランドホテルの確認も必要。
- ・ 会報作り講習会は今年度の広報部会が担当するというので、5月下旬で予定する。別途、講師を誰に依頼するか検討が必要。
- ・ 第1回役員会を土曜日にするとう運動会と重なる学校が多いことから木曜日を提案する。

(4) かけこみ110番マニュアル作成

- ・ 見積を依頼して判断する。

(5) 日P大会はがき回収依頼について

- ・ 日P大会の負担金の納入は、県Pへの負担金送金と同じタイミングになる予定。
- ・ 1会員あたり30円という負担金の他に、1単Pあたり5,000円という負担金の要請もおって来る予定。
- ・ 人を出し、金を出し、参加者を出しで今回の研究大会の負担はこれまでになく大きい。身の丈を考えた規模でやるべきでないか。
- ・ ちらしを作成して会員に理解を求めることは大事だが、その作成にまた経費がかかる。参考までに昨年の第3回オリエンテーションのちらし印刷代は68,350円であった。
- ・ 近日中に大会スローガン、シンボルマークの募集も来る予定。

(6) 年間活動スケジュールについて

- ・ 役員会、三役会で審議を諮らなければならない事項について、どのタイミングで各部会を開催しなくてはならないかを確認するために作成した。
- ・ 来年度の三役への引継ぎ資料とするためにも今年度の各部会長に目を通してもらって完成させたい。

(7) 今後の野球大会運営について

- 大会運営を中心で行って頂いていたP T A野球連合の会長が12月2日に他界され、P連より会長をはじめこれまでお世話になった役員・事務局がお通夜、告別式にそれぞれ参列してきた。また、P連名で5,000円の香典を支出した。
- 亡くなった林会長に感謝状を贈ってはどうかという案が出て承認された。
- 野球大会はP T A野球連合に運営委託をしていた。今後も誰かが会長をやり運営してくれるということなら、年度をまたがないように変更することと運営費の明細を出してもらいことを条件に引き続きお願いしてもよいと思う。しかし、誰もP T A連合の運営をする方がいないのであれば中止せざるをえない。
- これまで春季大会に60,000円、秋季大会に90,000円が大会運営費として支出されている。これまで秋季大会は3月に始まっていたが、P連は会計年度が変わる5月に運営費を送金していた。おそらく林会長がその間の運営費については立て替えていたものと考えられる。

4. その他

(1) 研究大会の報告書の各校配布とHP更新について

- 既に時間がかなり経ってしまったが報告書を集めてまとめをしたい。現在、3名の方が提出済み。残りあと6名の方から貰う予定。

(2) 日P第1分科会の基調講演の講師

- 市川市に縁のある方で、全国的に名前が知られている方が望ましい。

以上